



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

# 地域イノベーションを推進する 三重創生ファンタジスタの養成



三重に学び、三重を育てる。



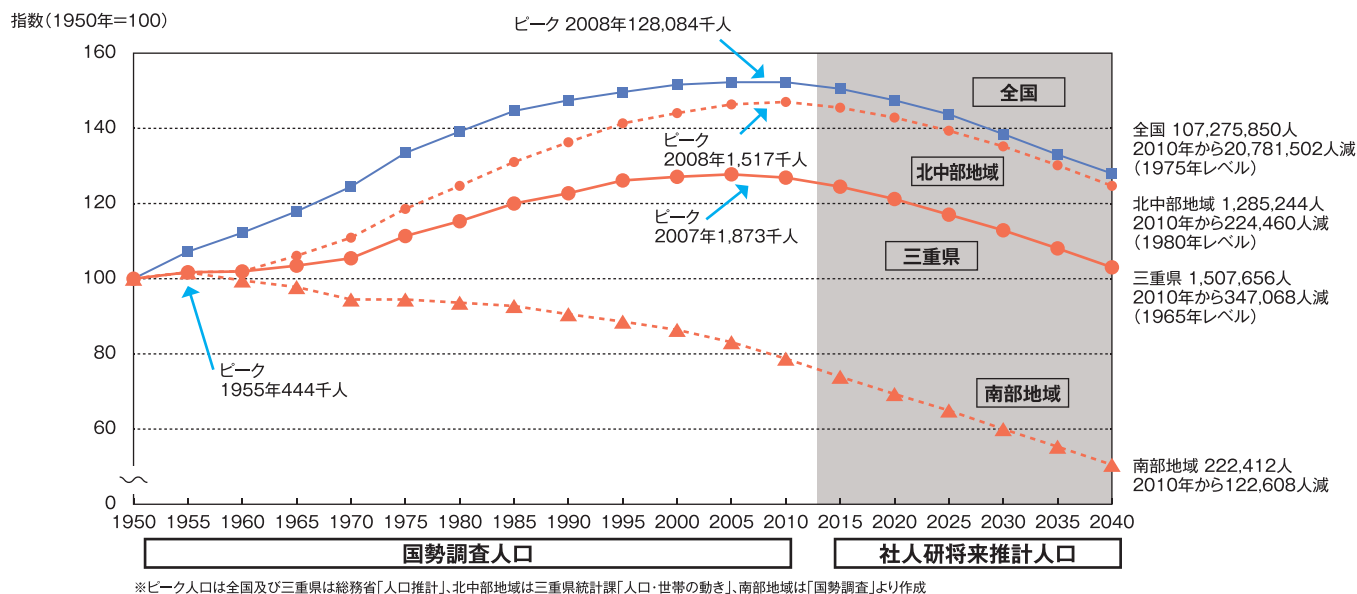
COC+三重大学



# 三重県における特徴と課題を考える

三重県における大きな課題として、県内人口の減少が挙げられ、2007年をピークに減少を続けています。また、南北に長い三重県では、各市町村に居住する人口にも大きな差が出てきており、人口密度が高まる市町とは別に、過疎化に苦しむ市町も出てきています。

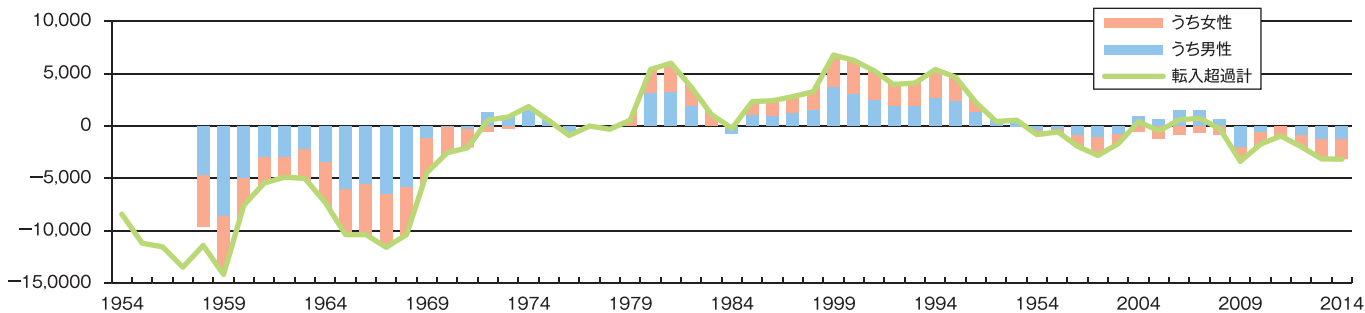
## 三重県及び全国の5年ごとの人口及び将来推計人口の推移



【出典：三重県人口ビジョン(平成27年10月)】

若者の人口流出が激しく、特に進学時における若者の県外流出が顕著です。出生数の減少による自然減と、転出超過による社会減への対策が急務です。

## 三重県における社会増減の推移

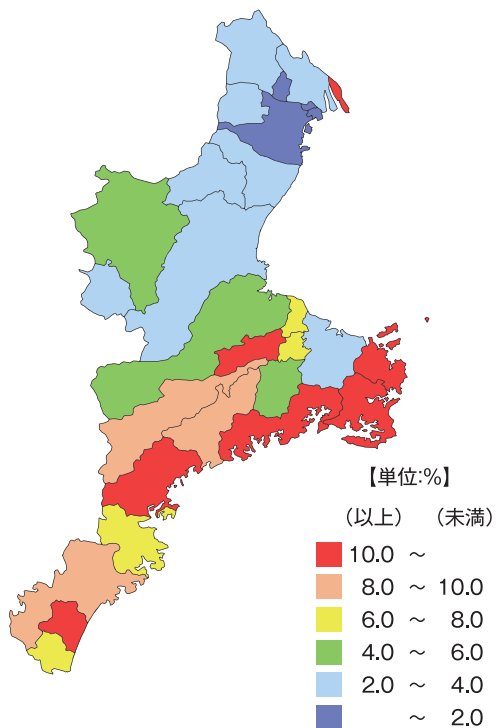


【出典：三重県人口ビジョン(平成27年10月)】



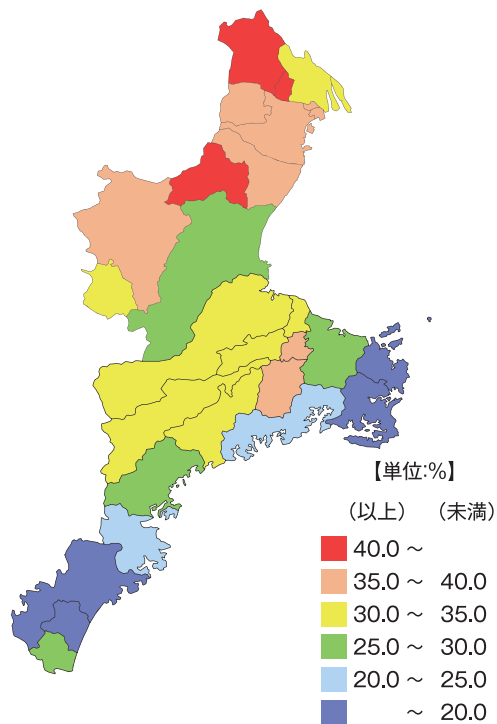
また、県内の産業構造にも特徴があり、県北部は第二次産業が盛んであるのに対し、南部は第一次産業が盛んとなっています。

### 平成22年度三重県における 第一次産業就業者比率



〈算出方法〉  
第1次産業就業者数÷全就業者数(「分類不能の産業」就業者を除く)×100

### 平成22年度三重県における 第二次産業就業者比率



〈算出方法〉  
第2次産業就業者数÷全就業者数(「分類不能の産業」就業者を除く)×100

〔出典:統計でみる三重のすがた(平成28年3月)〕

#### 食

産業のすそ野が広く、  
三重県は食材に恵まれている。

#### 観光

観光資源に恵まれている、伊勢志摩サミットで  
高まった知名度の活用が求められている。

#### 医療・健康・福祉

人口減少社会に適応していく  
ためにもこの分野の強化が必要。

#### 次世代産業

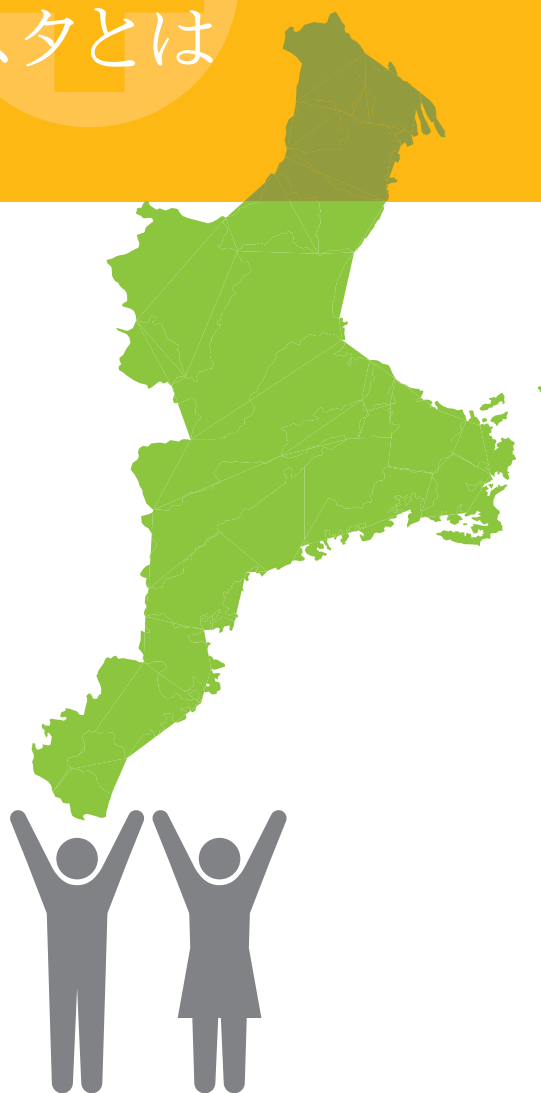
自動車、石油化学、半導体等の先端産業が集積しており、  
これらを活かした産業の多様化が求められている。

三重県における様々な課題を解決するのが「**三重創生ファンタジスタ**」です。

# 地域イノベーションを推進する 三重創生ファンタジスタとは

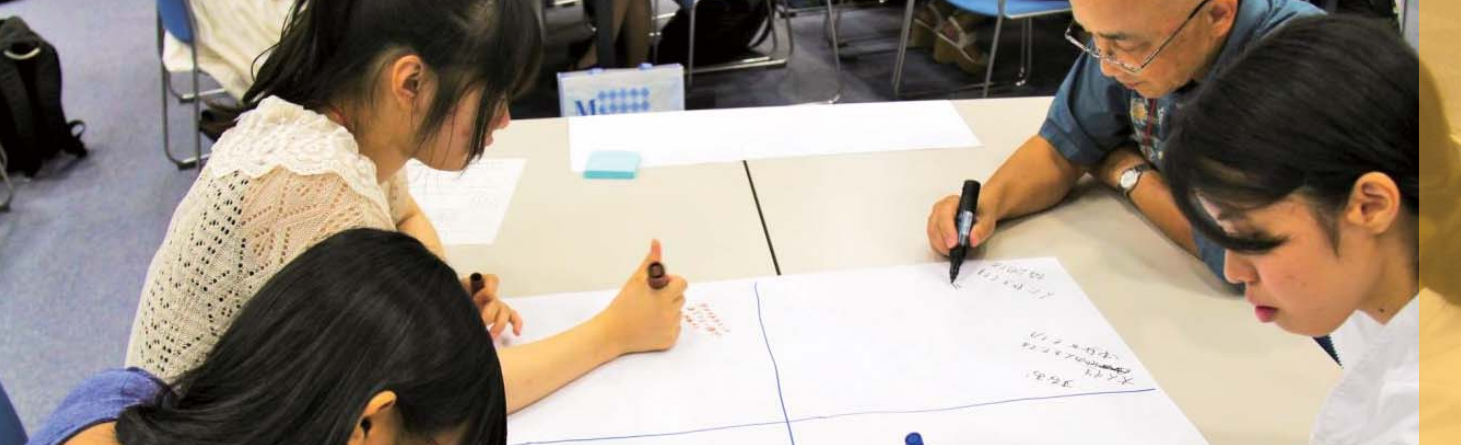
## 【三重創生ファンタジスタとは】

県内全13高等教育機関が協働するCOC+は、三重県における雇用の創出と若年層の県内就職率の向上につながる持続可能な地域の活性化と開発の方向を「食と観光分野」、「次世代産業分野」、「医療・健康・福祉分野」の3つで捉え、各々の分野をリードできる「ファンタジスタ」を養成することを狙いとしています。



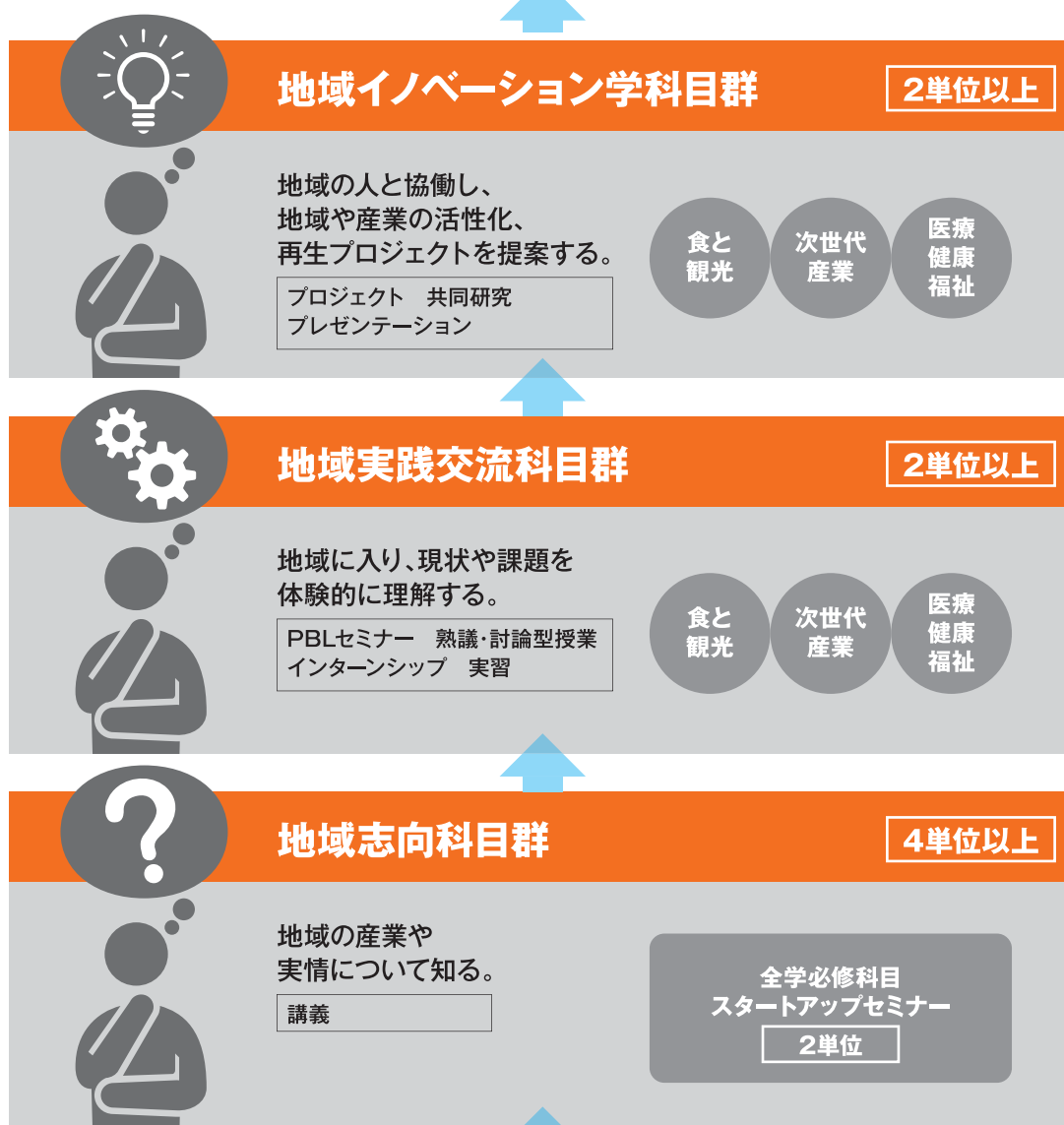
「地域志向科目群」、「地域実践交流科目群」、「地域イノベーション学科目群」の3つのステージで構成する「三重創生ファンタジスタ」は、三重県の現状を熟知し、三重県の地域や産業の課題の発見と解決方法を地域や現場の人たちと多面的なコミュニケーションを図りながら、産・官・学が一体となったオール三重体制を構築し、今後の三重県を展望しつつ、三重県の新時代を切り拓くことのできる人材を育成しようとするものです。

(三重大学の場合)



## [三重創生ファンタジスタ教育プログラムイメージ]

地域の課題に応える三重創生ファンタジスタへ



12単位以上修得

(三重大学の場合)

学生生活のスタート

# 三重県におけるCOC+の 目指す道とこれから

三重県におけるCOC+は、県内全13高等教育機関、三重県、20の企業が参加しており、「地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成」を図るとともに、以下の目標を達成すべく推進しています。

**10%** 三重県への  
県内就職率を  
5年間で  
10%向上させる。

**30人** 事業協働機関  
において5年間で  
30人の新規雇用を  
創出する。

**2倍** 事業協働機関への  
インターンシップ  
参加者を5年間で  
2倍にする。

**100%** 事業協働機関  
による満足度を  
100%とする。

## 企業・団体におけるメリット

インターンシップ等を通じて、優秀な県内高等教育機関に所属する学生との出会いや採用の促進

県内高等教育機関およびその所属学生との共同研究に基づく新技術・新製品の開発

## 自治体におけるメリット

地方創生に意識が高い県内高等教育機関に所属する学生の採用  
地方創生のための取組への県内高等教育機関に所属する学生の参加

県内高等教育機関およびその所属学生による各市町の課題解決

## 高等教育機関におけるメリット

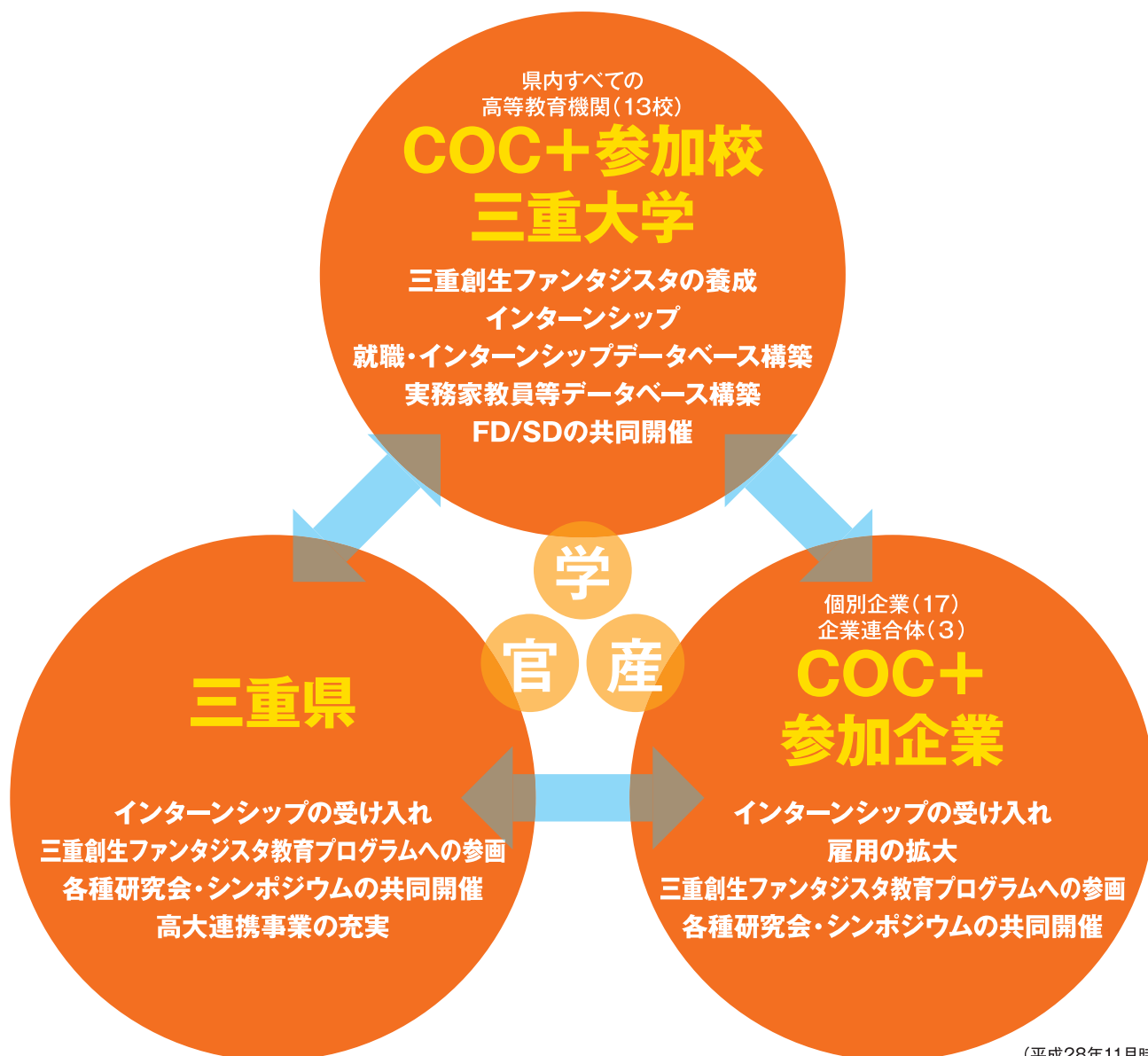
各高等教育機関の特色を活かした教育・研究の拡大

地域連携及び教員・学生の交流の拡大

## 学生におけるメリット

県内就職への可能性の拡大

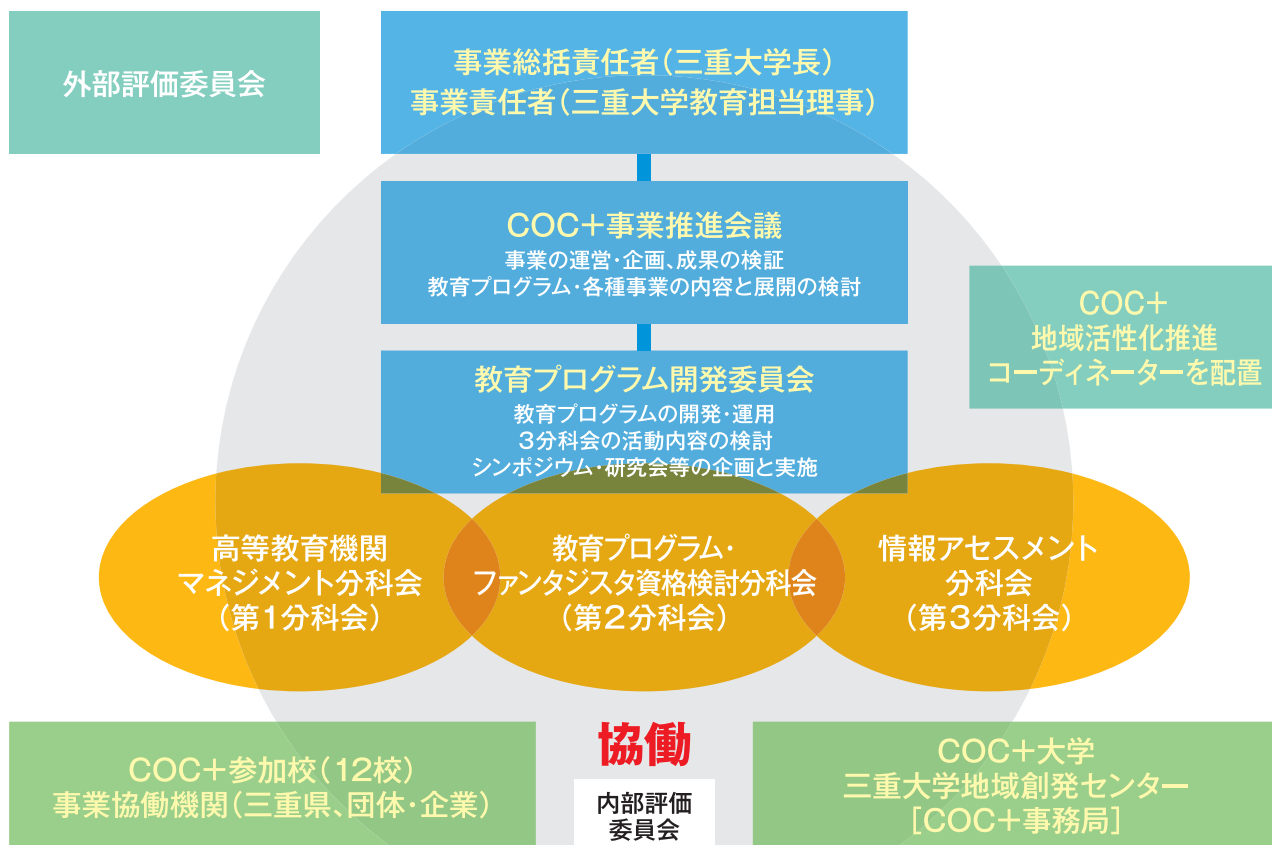
県内企業の魅力の再発見



## オール三重体制で歩み始めました。

三重県と県内全13高等教育機関が連携し、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に取り組んでいます。この事業の目的は、県内の高等教育機関が連携を強化し、三重県や県内の企業、企業連合体と協働することで、三重県が求める人材(三重創生ファンタジスタ)を養成するとともに、学生にとって魅力ある雇用を創出し、地域の活性化に大きく貢献することです。

## COC+事業実施体制図



補助期間終了後、高等教育コンソーシアムみえへ事業として統合。

COC+HP : <http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/>

## 事業協働機関

### 高等教育機関

四日市大学 皇學館大学 鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 鈴鹿医療科学大学 三重県立看護大学  
四日市看護医療大学 三重短期大学 高田短期大学 鈴鹿工業高等専門学校 鳥羽商船高等専門学校  
近畿大学工業高等専門学校

### 企業 (50音順)

(株)アーリーバード ICDAホールディングス(株) 伊藤工機(株) (株)医用工学研究所 (有)オズ海島遊民くらぶ  
(株)ZTV 中外医薬生産(株) 辻製油(株) 日本土建(株) 速水林業 万協製薬(株) (株)光機械製作所  
(株)百五銀行 (株)百五総合研究所 (株)マサグループ本社 三重県商工会議所連合会 三重県商工会連合会  
三重県農業協同組合中央会 (株)三重ティーエルオー 三重テレビ放送(株)

### 自治体

三重県

(平成28年11月時点)

## お問い合わせ先

# RECCOMND

## 三重大学地域創発センター

Research and Education Center for Community Development

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学総合研究棟Ⅱ 3階 地域創発センター事務局

TEL:059-231-9902・9969 FAX:059-231-2354 mail:jimu@cocpls.mie-u.ac.jp

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/>